

2025年10月入学

2026年4月入学

大 学 院

生物システム応用科学府

(B A S E)

食料エネルギーシステム科学専攻

一貫制博士課程第3年次編入学

学 生 募 集 要 項

東 京 農 工 大 学

重 要

指導予定教員との連絡について（必須）

出願にあたっては、志望する研究指導予定教員（後述）と連絡をとり、研究内容及び試験日程等の確認を必ず行ってください。また、今後の研究計画等について打ち合わせを必ず行ってください。

本要項に記載した情報は令和7年（2025年）7月時点の内容です。

本要項の公開後であっても、選抜方法や日程等に変更が生じる可能性があります。

変更のお知らせは本学ホームページの「入試情報 > 大学院：入試情報 > 重要なお知らせ」に掲載しますので、随時ご確認いただくようお願いします。

【本学ホームページ「重要なお知らせ」URL及びQRコード】

https://www.tuat.ac.jp/admission/nyushi_daigakuin/info/



生物システム応用科学府の アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

教育研究の目的、および人材養成の目的をふまえ、生物システム応用科学府は、以下のような人材を求める。

生物システム応用科学分野の学際性、融合性を考慮し、分野や履歴にとらわれず、高度の専門的・学際的知識の習得と知の開拓に強い意志を持ち、最新の科学技術の展開に関心を抱き、実践的に行動する意欲を持った学生を、広く国内外から受け入れる。

食料エネルギーシステム科学専攻の アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

食料エネルギーシステム科学専攻は、食料、エネルギー、環境の相互不可分の関係を理解し、人類生存の究極課題に熱意を持って挑戦し、複合領域に跨がる広い専門分野の人材を統率できるリーダーとして幅広い分野の専門家と連携したチームを作り、卓越したコミュニケーション力により国際社会で活躍できる人材の養成を目的とする。よって、次のような人材を求める。

- ・世界の人類の生活と生存、特に食とエネルギーの局面に関心を持つとともに、これらに関する地球規模の課題に対する問題意識を持ち、自然エネルギー分野、蓄電・省エネ技術、バイオマス、環境調和型生産技術、土壌の再生力向上、環境変化に強い農作物の作出、省エネ型植物工場、精密農業技術、持続的要素リサイクルシステムの構築等、食料やエネルギーの生産に直接関わる専門領域の知識や技術の習得を通して、国際社会に貢献する意欲のある者。
- ・専門領域の知識や技術に限らず、これらを間接的に支える、あるいはこれらに大きな影響力を持つ社会システムに関心を持ち、総合的な課題解決に取り組む意欲を持つとともに、幅広い分野の専門家と連携したチーム作りに挑戦し、国際社会とのコミュニケーションを積極的に行う意欲のある者。

2025年10月入学・2026年4月入学 東京農工大学大学院 生物システム応用科学府食料エネルギーシステム科学専攻 (一貫制博士課程)第3年次編入学 学生募集要項

1 本専攻の特徴

本専攻は、平成24年度に採択されたリーディング大学院プログラムにおいて構築してきたカリキュラムを基にして大学院教育の正規課程として設置されました。

本専攻では、高度な実践型研究人材として、食料、エネルギー、環境の相互不可分の関係を理解し、人類存続の究極課題に熱意を持って挑戦でき、複合領域に跨る広い専門分野の人材を統率できるリーダーとして、幅広い分野の専門家と連携したチームを作り、卓越したコミュニケーション力により国際社会で活躍できる人材の養成を目的としており、下記のような特徴を有しております。

○5年一貫教育システム

従来の博士前期課程（2年）と博士後期課程（3年）を貫いた、5年一貫教育システムを採用しています。従来の博士前期課程の1、2年次を“PreD”、“D0”と呼び、従来の博士後期課程をD1～D3とした5年一貫教育を行うことにより、従来の2年と3年の間の区切りをなくして、海外で実施するワークショップやプログラム、インターンシップ、研究室ローテーションを組み込んだ戦略的な実践教育を可能にしました。

○研究室ローテーション等による横断的複数研究指導

学生は、本専攻に所属する専任教員を教育指導教員（後述）とするほか、多角的な視野の形成と複合領域の技術的理解を達成するため、本専攻あるいは本専攻以外の教員を研究指導教員（後述）としてPreDからD0の間、合計3名（研究指導教員A、B、C）を選択し、研究分野をまたがった研究指導を受けることとなります。

○四学期制の導入

四学期制（クォーター制）を導入し、学生それぞれの方向性に応じて海外留学など国際的な活動を柔軟に取り込める仕組みとなっています。

第3年次編入学では、以上の本専攻の特徴を踏まえて、出身学部や経歴に捉われず、高い意欲と熱意をもった学生を、国内外から募集いたします。

2 募集専攻・募集人員等

専攻名	募集人員	備 考
食料エネルギーシステム科学専攻	若干名	募集人員には、外国人留学生及び社会人を含む。

3 出 願 資 格

(1) 一般選抜

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- ①修士の学位を有する者又は専門職学位を有する者及び入学する月の前までに当該学位を取得見込みの者
- ②外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び入学する月の前までに取得見込みの者
- ③外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び入学する月の前までに取得見込みの者
- ④ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び入学する月の前までに授与される見込みの者
- ⑤国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72

号)第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学(以下、「国際連合大学」という。)の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び入学する月の前までに当該学位を取得見込みの者

⑥外国の学校、上記(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準(昭和49年文部省令第28号)第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者及び入学する月の前までに合格見込みの者

⑦文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)。

1) 大学を卒業し、大学・研究所等において、2年以上研究に従事した者で本学府において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

2) 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学・研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本学府において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

⑧本学府において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、入学する月の1日現在24歳に達した者

注)「出願資格⑦ ⑧」により出願する者は、事前審査を行う。(「出願資格⑦・⑧の認定について」(p.6)参照のこと。)

4 出 願 期 間

2025年10月入学:2025年7月16日(水)～7月17日(木)まで

2026年4月入学:2025年10月23日(木)～10月24日(金)まで

窓口受付時間:9時30分～11時30分、13時30分～16時

5 出 願 手 続

所定の出願書類等を出願期間中に事務室へ郵送又は持参すること。郵送する場合は、封筒の表に「一貫制博士課程第3年次編入学出願書類在中」と朱書きし、書留速達で送付すること。

郵送にて出願する場合期日必着とする。

6 出 願 書 類 提 出 先 及 び 問 い 合 わ せ 先

〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16

東京農工大学小金井キャンパス内 管理棟 小金井地区学生支援室入学試験係(1階)

TEL 042(388)7014(直通)

7 選 抜 方 法

選抜は、書面審査、学力検査を総合して行う。

(1)出願書類等

出 願 書 類		注 意 事 項
A	編入学志願票 (所定用紙)	志望する研究指導教員に必ず連絡を取り、了承を得ること。
B	写真票・受験票 (所定用紙)	写真票・受験票には、脱帽上半身で志願者本人と判る写真(タテ4cm×ヨコ3cm)を貼付すること。
C	修了(見込)証明書	出身大学院が作成した博士前期課程又は修士課程修了(見込)証明書を提出すること。ただし、出願資格⑦・⑧に該当する者、本学府博士前期課程に在学中の者は、提出不要。

D	成 績 証 明 書	1) 出身大学院で作成したものを提出すること。ただし、出願資格⑦・⑧に該当する者、本学府博士前期課程に在学中の者は、提出不要。 2) 1)のほか、任意により、外国語能力を証明する資料を提出することができる。提出の場合、以下指示のとおり、外部の英語資格試験(いずれか一つ)のスコアシート(成績証明書)の原本及びコピーを出願時に提出すること。 ①本学が指定する外部の英語資格試験は、TOEIC公開テスト、TOEIC-IPテスト(本学実施に限る)、TOEFL iBT[※]、TOEFL ITP(本学実施に限る)とする。 ②出願書類として提出するスコアシートは、TOEIC、TOEIC-IPテストの場合、Official Score Certificate(公認認定証)の原本とする。TOEFL iBT、TOEFL ITPの場合、Test Taker Score Report(受験者用控えスコア票)とする。 ③スコアシート(成績証明書)は、当該試験願書提出期限から遡って2年以内に受験したものに限り。 ④持参による出願の場合、スコアシート原本は確認のうえ、その場で返却する。郵送による出願の場合、スコアシート原本は受験票と共に返送する。 ⑤一度提出したスコアシートの差替は認めない。
E	研究成果の概要 (所定用紙)	1) 博士前期課程又は修士課程修了者及び大学院又は共同獣医学科に在学中の者は、これまでの研究成果を要約した概要を日本語(2,000字程度)と英語(500 words程度)で提出すること。 2) 出願資格⑧に該当する者(共同獣医学科に在学中の者を除く)及び社会人で出願を希望する者は、これまでの研究成果(学術論文、勤務先での職務など)の概要を日本語(2,000字程度)と英語(500 words程度)で提出すること。 日本語を母語としない人は英語のみでも可。多様な研究歴を有する場合には、研究分野ごとに記載する。なお、修士論文に関連した別刷又はその写しがある場合は添付すること。
F	研究業績一覧 (所定用紙)及び 研究業績等の別刷	出願資格⑧に該当する者(共同獣医学科に在学中の者を除く)及び社会人で出願を希望する者は、研究業績等(学術論文、研究発表・報告、特許等)について記入し提出すること。なお、その研究業績等の別刷又は写し等がある場合にはそれらも併せて提出すること。
G	入学申請用紙 (所定用紙)	①本専攻の志望動機、②研究成果の概要、③今後の研究の展望と本専攻の教育目的との関連について、それぞれ日本語で400字以内、もしくは英語200単語以内で記述すること。
H	キャリアプラン	本専攻修了後の将来構想について、日本語(1,000字程度)もしくは英語(250 words程度)で記述すること。
I	在職(在籍)証明書 (様式随意)	社会人等で出願を希望する者は、主な職歴について、所属長等が作成した職務内容及び在職期間が明記された在職(在籍)証明書を提出すること。
J	住民票の写し等	1) 外国人は、住民票の写し(国籍等、在留資格、在留期間及び在留期間の満了の日が記載されたものに限り)、又は、パスポートの写しを提出すること。 2) 国費留学生は、国費外国人留学生証明書を提出すること。ただし、本学に在籍中の国費留学生は提出不要。
K	入学検定料	30,000円を以下の指定口座へ振り込み、支払証明書またはレシートを「入学検定料納付確認票」に貼りつけて提出すること。 【振込先】 三菱UFJ銀行 本店 普通 7851722 口座名義: トウキョウノウコウダイガク ※振り込みの際には、必ず振込人名義を「BASEF(自分の名前)」とすること。 例: BASEFノウコウタロウ <u>※本学の学府・研究科から引き続き本課程に進学する者及び入学後の国費外国人留学生の奨学金支給延長が決定している外国人留学生は提出不要。</u>
L	返信用封筒 (郵送出願者のみ)	定型封筒(長形3号)。郵送で出願する場合は、受験票返送用として郵便番号、住所、氏名を明記し、郵便切手460円(簡易書留)を貼り付けたものを同封すること。 【8月1日までに、受験票が届かない場合は、p.2「6.出願書類提出先及び問い合わせ先」記載の入学試験係に連絡すること。】
M	宛 名 票 (所定用紙)	必要事項を記入すること。なお、提出後住所等の変更があった場合は、速やかに小金井地区事務部学生支援室入学試験係に連絡すること。

(2) 選抜方法

〔1〕書面審査

本専攻の趣旨の理解度と本専攻の学生としての資質を評価するため、出願時に提出する「入学申請用紙(所定用紙)」による書面審査を実施する。

〔2〕学力検査

提出された入学申請用紙、研究成果の概要等に関する発表を含む口述試験を行う。なお、発表は日本語及び英語で行う。

入学申請用紙に記載された3項目「①本専攻の志望動機、②研究成果の概要、③今後の研究の展望と本専攻の教育目的との関連」と意欲などを審査する。

これらの内容を盛り込んだプレゼンテーション資料を準備すること。(詳細は別途案内を送付する。)

日時及び場所

2025年10月入学:2025年8月26日(火) 東京農工大学小金井キャンパス内

2026年4月入学:2025年11月17日(月)～11月18日(火) 東京農工大学小金井キャンパス内

なお、試験会場等の詳細については、別途出願者に通知する。

8 合格者発表

2025年10月入学:2025年9月5日(金)10:00

2026年4月入学:2025年12月5日(金)10:00

合格者は、上記日時から3日間、本学ホームページ(<https://www.tuat.ac.jp>)に掲載する。

合格者には合格通知書等を郵送する。

9 入学手続

(1) 入学手続期日

2025年10月入学:2025年9月12日(金)

2026年4月入学:2026年3月16日(月)

入学手続の詳細は別途通知する。

(2) 入学に要する費用

① 入学料……282,000円

ただし、本学の学府・研究科から引き続き本課程に入学する者は納入不要

② 授業料……年額 642,960円(前期分 321,480円、後期分 321,480円)

ただし、在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される場合がある。

本学(大学院連合農学研究科の構成大学を含む。)の学府・研究科修了見込みで出願する者は、本学学則第39条の2に定める「進学する者」として扱いますので、入学検定料及び入学料が不要となります。

*東京農工大学学則 第39条の2

本学(大学院連合農学研究科の構成大学を含む。)大学院の博士前期課程、修士課程又は専門職学位課程を修了し、引き続き博士後期課程又は博士課程に進学する者の入学料及び検定料は、徴収しない。

入学時には、本学指定の学生教育研究災害傷害保険料等の諸経費が必要となる。

(3) 必要書類等

在職のまま入学を希望する者は所属長等の入学承諾書(所定用紙)を提出しなければならない。

また、他の大学院に在学中の者は退学証明書を提出しなければならない。なお、提出できない場合は入学許可を取り消すことがある。

(4) その他

障害(学校教育法施行令第22条の3に定める傷害の程度)等のある者で受験上および修学上特別な措置を必要とする者は、志望指導教員および小金井地区学生支援室入学試験係へ出願前のできるだけ早い時期に相談すること。申請内容によっては、試験日までに対応できず、配慮できないこともあるので、なるべく早く申し出ること。

10 注意事項

- (1) 出願に当たっては、志望する研究指導予定教員に連絡し、確認を得ておくこと。
- (2) 学力検査には必ず、受験票を携帯すること。
- (3) 出願手続後における提出書類の内容変更は、認めない。
- (4) 本要項及び大学からの指示する諸事項を守らない場合は、受験できない場合がある。
- (5) 入学試験に関する照会は、2頁に記載の出願書類提出先とする。
- (6) これ以外の試験に関する注意事項は、出願時に配布する。
- (7) 納入した検定料は、いかなる理由があっても払い戻さない。
- (8) 本試験に関する変更等が生じた場合は、直ちに志願者に通知する。
- (9) 本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人東京農工大学安全保障輸出管理規程」を定め、学生の受入に際し厳格な審査を行っている。規制事項に該当する場合は、本学から経済産業省（経産省）への許可申請が必要となり、すぐに教育が受けられない場合や研究ができない場合がある。また、経産省が国際平和・安全の維持の観点から申請を不許可とした場合、結果的に本学での教育が受けられない場合や研究ができない場合があるので、注意すること。
- (10) 個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」および「国立大学法人東京農工大学個人情報の保護に関する規程」に基づいて、次のとおり取り扱う。
 1. 出願書類に記載された個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用する。
 2. 入学者選抜に用いた試験成績等は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用する。
 3. 入学者の個人情報については、①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用する。
 4. 上記1～3の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがある。受託業者には、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、個人情報の全部または一部を提供する。

11 指導教員

本専攻に編入学する学生は、以下の2種類の指導教員により、教育研究上の指導を受ける。志望する研究指導教員名を入学志願票（所定用紙）に記載すること。

(1) 研究指導教員

本専攻及び本学の工学府、農学府、生物システム応用科学府生物機能システム科学専攻のいずれかの教員を研究指導教員とすることができる。

本専攻

教育研究分野名	教 員 名
物質エネルギー設計	教 授 富永 洋一
機能材料科学	准教授 中田 一弥
エネルギーシステム解析	教 授 秋澤 淳 ※2027.3 退職予定
生体医用光学	教 授 西舘 泉
生物応答制御科学	教 授 梅澤 泰史
生物生産システム	教 授 鈴木 丈詞
生態系型環境システム	教 授 豊田 剛己

工学府

https://www.tuat.ac.jp/department/graduate_school/kougakuhu/

農学府

https://www.tuat.ac.jp/department/graduate_school/nougakuhu/index_3.html

生物システム応用科学府生物機能システム科学専攻

<https://www.tuat.ac.jp/base/staff/>

(2) 教育指導教員

キャリア開発プログラム、研究指導B、Cの選択方法、海外研修、共同研究等を研究指導教員と相談しながら助言するなど、本専攻のカリキュラム受講をサポートする。

教育指導教員の選出は入学後に行われ、本専攻の専任教員のうちいずれか1名が担当する。

出願資格 ⑦・⑧ の認定について

出願資格の認定とは、本学府への出願資格の有無を判定するためのものであり、下記のとおり実施する。

1. 申請書類受付日時

受付日

2025年10月入学:2025年6月30日(月)～7月1日(火)

2026年4月入学:2025年10月1日(水)～10月2日(木)

受付時間…9時30分～11時30分、13時30分～16時

受付場所…小金井キャンパス管理棟(1階) 小金井地区学生支援室入学試験係

なお、やむを得ず郵送する場合は、必ず封筒の表に「一貫制博士課程出願資格認定書類在中」と朱書き、書留速達で送付すること。期日必着とする。

2. 提出書類等

ア) 入学試験出願資格認定申請書(所定用紙)

イ) 卒業証明書(出身大学等最終学校長が作成したもの)

ウ) 成績証明書(出身大学等最終学校長が作成し厳封したもの)

但し、卒業後10年以上を経過した者については、提出する必要はない。

エ) p.3に掲げる出願書類のうち、F、G、I、M を提出すること。

3. 認定審査

本学府において、提出書類及び面接等により認定審査を行う。

4. 認定結果

2025年10月入学:2025年7月11日(金)に郵送する。

2026年4月入学:2025年10月17日(金)に郵送する。

5. 出願手続

出願資格の認定を受けた者は、一般志願者と同様に出願手続を行うこと。

その際、既に提出済の出願書類の再提出は不要。

12 所在地

〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16

☎ 042-388-7014

東京農工大学案内図

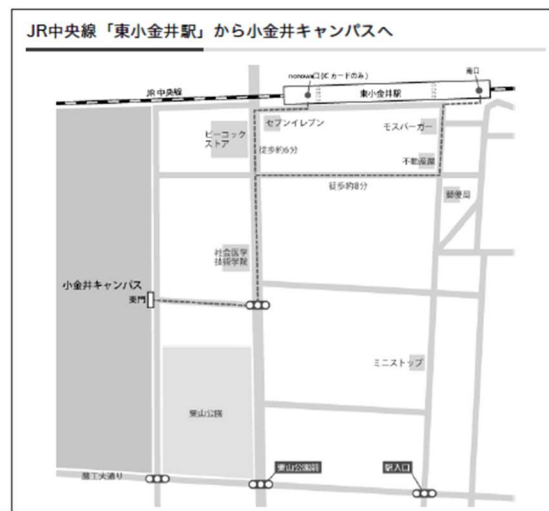


◎交通機関

小金井キャンパス

JR 中央線 東小金井駅 (新宿から約 22 分、立川から約 12 分)

nonowa 口から徒歩約 6 分、南口から徒歩約 8 分



受 験 番 号

2025年10月
2026年4月

：（該当を○で囲む）

東京農工大学大学院
生物システム応用科学府食料エネルギーシステム科学専攻（一貫制博士課程・編入学）

入 学 志 願 票

一 般 選 抜			
志 望 する 研究指導教員	所属学府・専攻	教 員 名	
ふ り が な 氏 名		性別	男 ・ 女
生 年 月 日	年 月 日生		
本 籍 国籍又は地域	都・道・府・県 国・地域		
現 住 所	〒		
	TEL	E-mail	
合 格 通 知 等 受 取 場 所	〒		
	TEL		
出 願 資 格	大学		
	学部 学科		
	年 月 日 卒業・見込み		
(社会人の場合) 勤務先及び職業	会社名 役職		
	〒		
	TEL		
学 歴 及 び 職 歴	年 月 立 高等学校卒業		
	年 月 大学 学部入学		
	年 月 大学 学部 卒業 卒業見込		
	年 月		
	年 月		
	年 月		

注） 1．※印欄には記入しないこと 2．該当する文字を○で囲むこと

2025年10月 入学(該当を○で囲む) 2026年4月		2025年10月 入学(該当を○で囲む) 2026年4月	
東京農工大学大学院 生物システム応用科学府食料エネルギーシステム科学専攻 (一貫制博士課程・編入学)		東京農工大学大学院 生物システム応用科学府食料エネルギーシステム科学専攻 (一貫制博士課程・編入学)	
写 真 票		受 験 票	
写真欄 写真は脱帽上半身 4cm × 3cm		受験番号	※
		教 研 研 究 指 導 員	
受験番号		ふりがな	
教 研 研 究 指 導 員		氏 名	
		生 年 月 日	年 月 日生
ふりがな		(注 意) 1.本票は、学力試験の際に机上に置いて監督者に見えるようにすること。 2.本票は、入学手続まで大切に保管しておくこと。 3.※印欄は記入しないこと。	
氏 名			
生 年 月 日	年 月 日生		
注) 1 ※印欄は記入しないで下さい。			

太線で切り取って提出すること。

研究成果の概要

受験 番号	※	研究指導 教員名		氏名	
研 究 題 目					
研 究 成 果 の 概 要 (日本語 2000 字程度と英語 500 単語程度)					

東京農工大学大学院 生物システム応用科学府
食料エネルギーシステム科学専攻（一貫制博士課程・編入学）

研 究 業 績 一 覧

受験 番号	※	氏 名			
			発行又は 発表の年月日	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	備考（共著者名又は 共同発表者名）

注）年代順に記載のこと。また、学术论文等は、別刷又は写を添付すること。

※印は、記入しないこと。

入 学 申 請 用 紙

受 験 番 号	※	研究指導 教 員 名		氏 名	
------------	---	---------------	--	-----	--

募集要項と本専攻の教育目的の趣旨に基づき、以下の項目について、それぞれ400字以内（英語なら200単語以内）で記述して下さい。

（この様式であれば、別紙にて作成可）

① 本専攻の志望動機、② 研究成果の概要、③ 今後の研究の展望と本専攻の教育目的との関連

注）※印は、記入しないこと。

キャリアプラン

受験 番号	※	研究指導 教員名	氏名	
----------	---	-------------	----	--

本専攻修了後の将来構想について、日本語で 1,000 字程度あるいは英語で 250 語程度記述すること。

2025年10月入学・2026年4月入学

東京農工大学大学院生物システム応用科学府

食料エネルギーシステム科学専攻（一貫制博士課程・編入学）

入学試験出願資格認定申請書

ふりがな氏名	〒	現職	
生年月日	年 月 日 (歳)	現住所	TEL - -
学歴			
年月日	事項		
職歴 (研究・開発等の業務内容を詳しく記入して下さい。)			
年月日	事項		
学会及び社会における活動状況			
年月日	事項		

入学承諾書

氏 名

このたび、上記の者が在職のまま貴大学大学院生物システム応用科学府食料エネルギーシステム科学専攻（一貫制博士課程）に入学することを承諾します。

年 月 日

東京農工大学大学院
生物システム応用科学府長 殿

住 所

所属機関

所 属 長

⑩

入学検定料納付確認票

受験番号	※
------	---

支払証明書またはレシートを貼り付けてください。

(注意)

納入された入学検定料は原則返還しません。

※印欄は記入しないでください。

〔食料エネルギーシステム科学専攻（一貫制博士課程）〕
Department of Food and Energy Systems Science (Consistent Doctoral Program)

宛 名 票

Contact Information Sticker

これは、「入学手続き類」、その他連絡事項を送付する場合の
宛名として使用します。

※印欄は記入しないでください。

These stickers will be used to address envelopes for sending the
“admission procedure documents” and other information to you.

Do Not fill in the section marked with a ※

郵便番号
Postal code

住 所
Address

名 前
Name

〒	—
殿	
(※)	

〒	—
殿	
(※)	

〒	—
殿	
(※)	

〒	—
殿	
(※)	